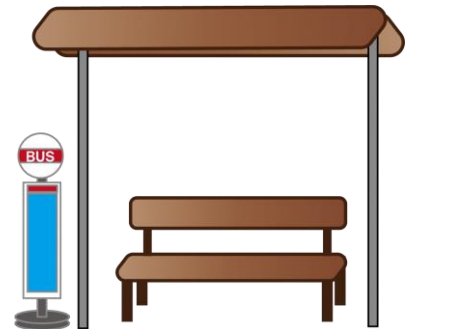


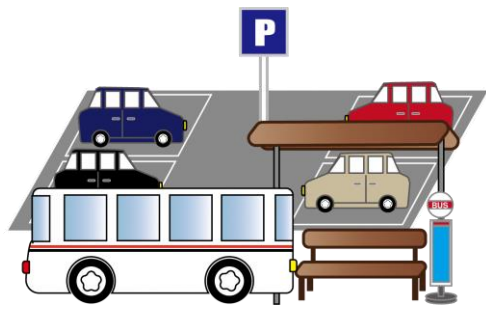
具体的な取組の例



鉄道・バス路線や乗継箇所を示した
嶺北地域内のマップの作成



待合所の環境改善
(屋根や椅子の整備 など)



バス・鉄道に乗り換えるための
バス停・駅付近への駐車場の整備



バスの乗り方教室の開催

関係者間で協力した取組を行うことで、
「より便利で、使いやすい」公共交通を目指します。

達成状況の評価

住民の方や交通事業者、行政などで構成する「嶺北地域公共交通協議会」において、様々な取組の状況を確認し、設定目標の評価を定期的に行うこととしています。

関係機関との様々な取組により、より良い公共交通として
いく活動を行います。地域の皆様もご協力をお願いします。

※ 当パンフレットの詳細については、
「高知県嶺北地域公共交通網形成計画」本編に記載しています。
事務局ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

高知県嶺北地域公共交通網形成計画【概要版】

平成31年（2019年）3月

〈発行〉高知県、本山市、大豊町、土佐町、大川村（嶺北地域公共交通協議会）

〈事務局〉高知県中山間振興・交通部交通運輸政策課

本山市政策企画課、大豊町総務課、土佐町総務企画課、大川村総務課

暮らしやすい地域とするために

～高知県嶺北地域公共交通網形成計画～ 【概要版】

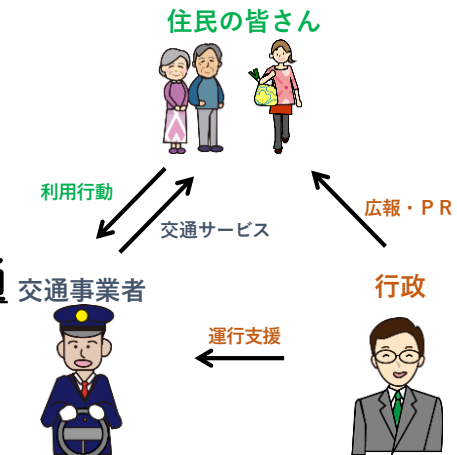


計画のねらい

嶺北地域の公共交通サービスについて、今後、人口減少・過疎化の進行により、現状の公共交通サービスの維持が次第に困難になっていくことも想定されます。

そこで、鉄道や路線バス等の公共交通や
移動手段について、関係機関が連携、協働
した取組を実施することで、

「将来にわたって持続可能な公共交通
ネットワーク」を確立することを目的と
します。



計画のポイント

公共交通に関する調査の結果、嶺北地域の抱える課題が下記のとおり明らかになりました。

これらの課題を解決するため、「計画の基本方針」及び
「計画目標」を定め、必要な施策を計画に盛り込むこととします。

＜嶺北地域の「3つの“不足”」＞

- 1 嶺北地域内を円滑に移動する手段が“不足”
- 2 嶺北地域から高知方面への利用者のニーズに即した移動手段が“不足”
- 3 公共交通サービスに関する情報提供が“不足”

計画の基本方針

嶺北地域の現状等を踏まえて、「計画の基本方針」は次の3つとします。

- ① 嶺北地域内で自家用車に頼らずに暮らしていけるための公共交通手段を整えます
- ② 嶺北地域外と便利に行き来できるように幹線及び乗り継ぎ拠点の整備を行います
- ③ 公共交通の利用を促進し、持続可能な公共交通を目指します

計画目標

計画の基本方針に基づき、嶺北地域の公共交通に関する課題を解決するための4つの「計画目標」を定めます。

- ① んけいた交通手段による嶺北地域内の公共交通ネットワークの形成
- ② どののしやすさを目指した嶺北地域外との公共交通体系の整備
- ③ こりと愛着のある公共交通となるための取組みの推進
- ④ らしを支える公共交通の利用環境の整備

対象地域と主要・補助施策のイメージ



計画目標を達成するための主要・補助施策【計画期間 5年間（2019～2023年度）】

計画目標を達成するための主要施策	主要施策を支える補助施策
1 嶺北地域内の移動がより便利になるよう、公共交通ネットワークを見直します	1 ここにあれば公共交通で「おでかけしたくなる」スポットをつくります
2 公共交通を使って嶺北地域から（へ）の移動のしやすさを確保します	2 地域みなさんと一緒に「利用したくなる」バスをつくります
大杉駅に停車する特急列車の本数を増やし、併せて路線バスを接続する社会実験を行います	3 皆さんに公共交通をより「利用してもらえる」ように取り組みます
大豊バスストップで高知から（へ）の高速バスを乗り降りできる社会実験を行います	4 地域交通を担うバス・タクシー運転者の確保に取り組みます
	5 自宅からバス停・JRの駅まで来てもらえるよう、パーク＆ライドやコミュニティバス・タクシーなどの移動手段等を整備します